

2025年1月15日

Press Release

報道機関 各位



武庫川女子大学

Mukogawa Women's University

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46

広報室 TEL : 0798-45-3533

阪神・淡路大震災30年 防災シンポジウム開催のお知らせ

2025年は、阪神・淡路大震災から30年という節目の年となりますが、近い将来の発生が危惧されている南海トラフ地震に備えるためにも、地域住民を含めた防災意識の高揚が不可欠となっています。

武庫川学院は、阪神・淡路大震災から30年を機に、震災の記憶を風化させないこと、また、南海トラフ地震を含む大規模な自然災害への対応力を向上させることを目的に、2月8日（土）、西宮市と共同で防災シンポジウムを武庫川女子大学中央キャンパスで開催しますので、ご案内いたします。

防災シンポジウムの詳細は下記の通りです。

【主催】西宮市、武庫川学院

【共催】鳴尾連合自治会、日本災害医療薬剤師学会

【日時】2025年2月8日（土）13時～16時40分

【場所】武庫川女子大学中央キャンパス公江記念講堂（西宮市池開町6-46）

【総合司会】武庫川女子大学放送部

※参加費は無料、事前申込みは不要です。

【式次第】（敬称略）

- 12 : 00 ～ ◇開場（入り口フロアおよび屋外にてブース展示を開催）
- 13 : 00 ～ ◇復興の歌合唱
武庫川女子大学音楽部約90人による合唱
「しあわせ運べるように」など
- 13 : 15 ～ ◇開会あいさつ
石井 登志郎（西宮市長）
瀬口 和義（武庫川女子大学 学長）
- 13 : 30 ～ 15 : 00 ◇第1部
基調講演
講師：井戸 敏三（元兵庫県知事）
「阪神・淡路大震災を振り返って」
講師：矢守 克也（京都大学防災研究所副所長）

「安心して逃げることができる社会をつくる」

15:10 ～ 16:40 ◇第2部

話題提供とパネルディスカッション

<話題提供2題>

- (1) 「平常時のまちづくりが災害時に活かされる～西宮市立安井小学校の事例から～」
ハッ塚 としえ（日本災害救援ボランティアネットワーク 元研究班）
- (2) 「避難所でのトイレとこれからの備え」
加藤 篤（日本トイレ研究所代表）

<パネルディスカッション>

テーマ：「自主的な避難生活の心得 - 自助・共助&備え -」

コーディネーター：石井 登志郎（西宮市長）

登壇者：加藤 篤（日本トイレ研究所代表）

ハッ塚 としえ（日本災害救援ボランティアネットワーク元研究班）

大川 恭子（武庫川女子大学薬学部教授）

川崎 洋光（鳴尾連合自治会長）

当日は、災害用医療支援車両や防災用品の展示などを行います。

お問い合わせ先

本件に関するお問い合わせは、取材のお申込みは下記までお願いいたします。

武庫川女子大学広報室

TEL：0798-45-3533

E-mail：kohos@mukogawa-u.ac.jp